

第3期宮城県食育推進プランの策定に当たって

本県は、豊かな自然と四季折々の食材に恵まれ、多彩な食材を生かした郷土料理や優れた伝統的な食文化が育まれ、継承されてきました。

しかしながら、近年、ライフスタイルや食に対する価値観の多様化などにより私たちの食生活は大きく変化し、健全な食生活を心がけている人の減少や伝統的な食文化の喪失など様々な問題が生じています。また、身体活動の減少、不規則な食生活などに起因する肥満やメタボリックシンドロームなどの状況は、全国と比較して望ましいとは言えない現状にあります。

県では、東日本大震災後の平成23年7月に、「第2期宮城県食育推進プラン」を策定し、市町村や関係機関、団体等の皆様と連携、協働して被災者の食生活支援を行うとともに、食育を推進してまいりました。その結果、学校や保育所、幼稚園等における子どもの食育や、みやぎ食育コーディネーター等による地域での様々な食育の取組が着実に広まってきております。

このような状況を踏まえ、このたび、平成18年に「宮城県食育推進プラン」を策定してから10年となる節目の年を迎え、より一層食育推進の取組を充実し、県民の皆様が生涯にわたり健康で心豊かな生活を送れるよう「第3期宮城県食育推進プラン」を策定いたしました。

今後は本プランに基づき、食を通じた「心身の健康増進」と「豊かな人間形成」を目指し、家庭や学校をはじめ地域の様々な関係者と連携、協働しながら、県民の皆様一人一人が主役となった県民運動として、次世代へ伝えつなげる食育の推進に取り組んでまいります。

最後に、この計画の策定に当たり貴重な御意見、御協力をいただきました宮城県食育推進会議の委員の皆様をはじめ、県民の皆様、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成28年3月

宮城県知事 村 井 嘉 浩

